

手話は言語 ～デフムービーって何だろう～

第12回 さがの映像祭

2016.

1/23[土]～24[日]

龍谷大学 アバンティ響都ホール

〒601-8003 京都府京都市南区東九条西山王町31 アバンティ9階
 〈京都駅八条東口徒歩1分〉

チケット

一般:2日間 1,500円 1日間 1,000円

学生:2日間 1,000円 1日間 700円 (小学生～大学・専門学校生)



上映

1/23

松浦龍平 山下徹大 北村有起哉 三浦アキヲ 前田倫良
 原田大二郎 榎本孝明 寺島進 泉谷しげる
 監督 五十嵐 匠



第12回 映像作品コンクール 応募作品上映

※画像は2014年度第11回応募作品



上映

1/24

奇跡のひと マリーとマルグリット

MARIE HEURTIN

19世紀末、フランスに実在した
 “もうひとつ”のヘレン・ケラー物語

© 2014 - Escazal Films / France 3 Cinéma - Rhône-Alpes Cinéma

ワークショップ

1 集まれ映像クリエイター ～はじめの一步～
 1/23 11:00～ 会議室(定員 25名)

2 映像作品コンクールつくる人×見る人
 1/23 15:30～ ホール

◆アドバイザー

今村 彩子(映像作家/ろう者)

横地 由起子(京都シネマ支配人/健聴者)



今村彩子監督

3 字幕 ～鼓の音は「ボン」か「カン」か？～

1/24 11:00～ 会議室(定員 25名)

ワークショップ申込方法: 事前申込が必要です。

お申込は[①番号(1～3)・②名前・③連絡先・④聴覚障害者・健聴者人数]を事務局(連絡先:裏面)までお知らせください。申込締切:2016年1月8日(金) 定員に達し次第締め切ります。定員に余裕がある場合は当日受付もいたします。

主催 龍谷大学社会科学研究所労働統合・共生経営研究センター

共催 映像教育研究会

協賛 社会福祉法人全国手話研修センター

特定非営利活動法人CS障害者放送統一機構

特別協賛 公益財団法人京遊連社会福祉基金

後援 一般財団法人全日本ろうあ連盟

第12回 さがの映像祭

2016
1/23 [土]

11:00~12:30
会議室にて

ワークショップ1
集まれ
映像クリエイター
～はじめの一步～

ロビーでの
応募作品上映
1/23: Bグループ
1/24: Aグループ

■あなたも審査員!
会場特別賞に投票しよう!
※投票用紙は1人1枚

9:30 ホール開場

司会:青木 毅(目で聴くテレビ手話キャスター)

10:00~12:00
応募作品上映 A

13:00~15:15
映画 長州ファイブ

日本語字幕上映

15:30~17:00

ワークショップ2
映像作品コンクール
つくる人×見る人

アドバイザー

今村 彩子 横地 由起子
愛知県出身。聾学校講師を経て、現在大学の非常勤講師。ろう者を取り上げたドキュメンタリー映画を制作。
京都府出身。京都内数か所の劇場勤務を経て、2004年12月開館時より京都シネマ支配人。

10:00~12:00
応募作品上映 B

13:15~15:00
映画 奇跡のひと
マリーとマルグリット

日本語字幕上映

15:15~16:15

審査発表・表彰式・審査員による講評

【審査員】(50音順)
池田 和生 (元KBS京都放送ディレクター)
井上 泰治 (映画監督、主な作品に「水戸黄門」ほか)
大館 信広 (デフムービーエンターテインメントプロディア代表および映画監督)
金山 智子 (岐阜県立情報科学芸術大学院大学教授)
高田 英一 (特定非営利活動法人CS障害者放送統一機構理事長)
津田 正夫 (元立命館大学教授、元NHKチーフプロデューサー)
早瀬 憲太郎 (映画「ゆずり葉」「生命のことづけ」監督)
横地 由起子 (京都シネマ支配人、映像教育研究会事務局長)

※当日の催し等は変更になる場合があります

映画のあらすじ



©グローバル・ピクチャーズ

長州ファイブ

出演
松田 龍平 山下 徹大
北村有起哉 三浦アキフミ
前田 倫良
監督・脚本
五十嵐 匠

幕末から明治にかけて、時代を駆け抜けた5人の男たち。日本を変えるため命を賭けて海を渡った彼らを、人は「長州ファイブ」と呼んだ。

1853年、ペリー率いる黒船が浦賀に入港して以来、日本中が開国か攘夷かで揺れ動いていた中、命懸けで英国に密航した若者達があった。その勇気ある志士こそ、後に「長州ファイブ」と呼ばれる伊藤博文・井上馨・井上勝・遠藤謹助・山尾庸三の5人であった。1863年6月、5人はロンドンへと辿り着き、造幣、造船、鉄道などを貪るように見聞し、最新技術や知識を会得していった。2006年/日本/119分/字幕 制作:社会福祉法人山口県聴覚障害者福祉協会 協力:山口県字幕サークルEライン



©2014-Escazel Films/France 3 Cinéma-Rhône-Alpes Cinéma

奇跡のひと マリーとマルグリット

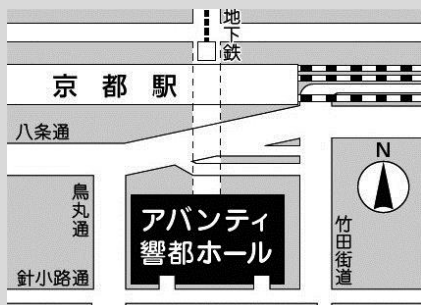
出演
イザベル・カレ
アリアーナ・リヴォアール
監督・脚本
ジャン=ピエール・アメリス

～光と音がなくても伝えたい 心の手ざわり～
19世紀末、フランスに実在した“もうひとつ”の
ヘレン・ケラー物語

聴覚障害の少女たちが暮らす修道院に、目も耳も不自由な少女マリーがやってきた。教育を一切受けずに育ったマリーは獷猛で誰にも心を開かない。不治の病を抱え余命いくばくもない修道女マルグリットは、マリーに“世界”を与えるべく教育係となる。困難の末ついにマリーが言葉を知る日がやってくるが、2人の別れの時間は目前に迫っていた——。フランスボアティエ地方に実在した感動のトゥルー・ストーリー。2014年/フランス/94分/字幕:齋藤 敦子

日程 2016.1/23[土]~24[日]

会場 龍谷大学アバンティ響都ホール



〒601-8003
京都府京都市南区東九条
西山王町31 アバンティ9階

●京都駅八条東口より徒歩1分

【ホール内バリアフリー】
パソコン要約筆記、
磁気ループ席、車いす席

チケット
(自由席)

一般:2日間1,500円 1日間1,000円
学生:2日間1,000円 1日間 700円
(小学生~大学・専門学校生を含む)

全国手話研修センターにてチケット販売中。
当日会場でも受付いたします。

お問い合わせ先

第12回さがの映像祭実行委員会 事務局
(社会福祉法人 全国手話研修センター企画課)

〒616-8372 京都市右京区嵯峨天龍寺広道町3-4
FAX 075-873-2647 TEL 075-873-2646
ホームページ <http://www.com-sagano.com/>